



退任にあたり挨拶を申し上げます

昭和 43 年三条工業高等学校機械科卒
前同窓会長 梨本 正實

永きに渡り同窓会役員をはじめとする先輩役員の皆様、そして多くの同窓会員の方々や校長・教職員の先生方から多大なるご協力をいただき、無事に職責を務めることができました。

本来であるならば、皆様方にお会いして御礼を申し上げるべきところではありますが、このような未曾有の事態のため叶わなくなりました。お許しをいただきますようお願い申し上げますとともに、言葉では尽くせぬ感謝の想いと思い出を育んでいただいた母校と皆様に、深甚なる敬意と御礼を申し上げます。

顧みますと

明田川先生のこと…

私の卒業した昭和 43 年当時は半数以上が県外に就職する時代でした。今は亡き明田川清吉先生から、「梨本君あんたは三条に残るんだから同窓会の手伝いをしてくんねかや〜」とのお誘いの一言で同窓会に関わらせていただき、以来これまで「あっと言う間の役員在職 52 年」の永きに渡り同窓会役員として席を置かせていただきました。

お誘いしていただいた明田川先生のお顔とお人柄、そして三条弁まる出しの口調で授業を受けたことは終生忘れ難い思い出であります。

当時は明田川先生をはじめ母校に対する愛着・愛情を大変強くお持ちの個性的な先生方が多くおいでになり、我々生徒にも人気のある魅力的な先生方が大勢おられました。

目黒校長先生のこと…

一番印象深い校長先生は、初代校長の目黒治夫校長です。当時、私の父が P T A 会長を務めていたことから、教育者としての毅然とした姿勢の中にも温和で穏やかなお人柄に触れさせていただきました。

和田校長先生のこと…

もうお一人は、現在、京都にお住まいになっておられる 12 代の和田信彦校長です。和田校長とは私が P T A 会長に就任したことからお付き合いが始まりました。和田先生は笑顔が大変素敵な方でありました。私の 5 歳年上と互いの年齢も近く、学校運営・P T A 活動などを通じて深くお付き合いをする機会を得させていただくとともに、楽しい思い出を残させていただきました。

松井相談役のこと…

平成 20 年、野球部の甲子園出場が叶う年の春、共和工業(株)の創業者であり、同窓会相談役である故 松井恒雄様から同窓会に高額のご寄付をいただきました。このことが夏の甲子園出場の機運を作ったような気がいたします。

甲子園出場が決まった途端から、卒業生をはじめ多くの企業の皆様や市民の方々から想像をはるかに超える多額の協賛金をいただきました。快挙を成し遂げた生徒と母校に対する熱いご支援と力強い応援に、毎日、毎日、感激と感謝の涙を流したことは生涯忘れ得ません。

その感激を胸に、松井様のご寄付の用途として、また、甲子園出場の記念として、学校敷地内に合宿所「共和会館」を建設させていただき、翌年の平成 21 年に竣工いたしました。その中に同窓会事務局を開設した次第です。

100 周年のこと…

平成 25 年には創立 100 周年記念事業として協賛募金をお願いし、共和会館の向かいに「総合トレーニング場」を建設しました。部活動に励む生徒たちがこの「総合トレーニング場」と「共和会館」を日々、有効に活用し、その成果の表れとして平成 25 年と 30 年に県高等学校年間スポーツ最優秀校を受賞してくれました。

大湊校長先生のこと…

私が平成 25 年に同窓会長を仰せつかった翌年に赴任してこられ、平成 26 年から 4 年間、校長をお勤めになられた 17 代の大湊卓郎校長も大切なお一人であります。大湊校長には少子化社会における高等学校のあるべき姿、特に職業高校と地域とのつながりの大切さについて数々のご教示を

いただきました。

そうしたことから、新潟県産業教育振興会の会員募集で地域企業の方々に呼びかけ、全県の会員数の1/4を母校扱いの会員企業が占めることとなりました。

私は、この地域とのつながりを大切にする姿勢こそ、我が母校と同窓会が培ってきた歴史であり、同窓会活動の至言であるとともに、大切な財産であると思っています

県央工業高校の充実・発展を求めて

こうした思いを持って、平成27年10月に県知事、県議会議長、県教育長に「新潟県央工業高校の充実・発展を求める要望書」を三条市長、燕市長、三条商工会議所会頭、燕商工会議所会頭と連名で提出して、県央地域における工業教育の充実を求めました。

東京支部の皆さんとの出会い

毎年2月に東京でお会いする東京支部の皆様には楽しい交流のひとつと良き思い出を与えていただきました。18歳で故郷を離れ、友人・知人のいない見知らぬ地で努力を重ねられ、立派に独り立ちしてこられた皆様方の姿に敬服するとともに、至らぬ自分を知る機会を与えていただきましたことは、私自身への教えとなりました。

常に母校を支えて

平成29年には未来への足掛かりにと同窓会名簿を発行。

平成30年に猛暑対策として、教室に冷房装置の設置を105周年記念事業に位置付けて取り組みました。これは急遽、県の政策転換で県が費用負担してくれることになり、同窓会・PTAの負担がほとんど無くなるという思いがけない結果になりました。

令和元年に全国産業教育フェア新潟大会が催されることになり、母校がロボット競技大会の主管ということで、これまた地域企業の皆さんより多大なご協賛をいただきました。

そしてこの度、感染防止対策として除菌電解水給水器を母校に寄付する運びです。

ようやく卒業！すべてが私の財産です

「昭和40年4月の入学以来、在学期間を含めて55年の永き年月をかけて、この度ようやく、三条工業高等学校と新潟県央工業高等学校同窓会を卒業させていただくことになりました」。これは今の私の気持ちです。

3期、6年7ヶ月に渡る会長在任中は同窓会役員の皆様には会の運営に多大なるご理解とご協力をいただきました。松縄常任委員長と事務局を勤めていただいております吉田先生には毎週のように相談協議に応じていただきました。

顧みますと、あっという間の充実した時間だったと思います。これも偏に同窓会役員皆様のお陰であり、感謝申し上げます。

母校と同窓会を通じて本当に多くの方々と出会い、学び、交流する機会を与えていただきましたことは、生涯忘れ得ない思い出であり、そのすべてが私の良き財産となりました。

最後に

「我が母校・同窓会は、素晴らしいまとまりと和やかな雰囲気を持ち、母校への強い想いを永年に渡り伝統として培ってきた、他に類を見ない誇れる同窓会と言っても過言ではありません。」

この度、9代目同窓会長に就任された松縄嘉彦氏は本会の活動理念と趣旨を深く理解されておられます。新しい生活様式が提唱されて混沌とする世情ではありますが、新同窓会長のもとに結集され、ものづくり地域における工業高校として母校をしっかりと支え得る、より強固な同窓会に発展させていただきますようお願いするとともに、皆様の益々のご健勝を祈念し、退任の挨拶とさせていただきます。

本当に永い間お世話になりました。厚く御礼申し上げます。

令和2年6月吉日

梨本 正實 役職歴

昭和43年3月	三条工業高校卒業(3回生)
昭和43年4月から	同窓会評議員
平成8年7月から	同窓会副会長
平成20年4月から	同窓会常任委員長
平成25年10月から	同窓会長
令和2年5月21日から	同窓会顧問